

科目	単位	時間	履修学年	講師名
基礎看護技術Ⅶ (与薬)	1	30	2	
ねらい	診療に伴う技術である治療・処置技術、与薬の技術を習得する			
回数	授業内容			授業形態
1回目	科目のガイダンス (ねらい 講義・演習の進め方と学習方法) 与薬の基礎知識：剤型と吸収経路と与薬に関わる看護師の役割			講義
2回目	与薬の種類と方法①：経口与薬について 経口与薬の種類と服用時間と適応 経口与薬の援助の実際			講義
3回目	与薬の種類と方法②：吸入・点眼・点鼻・経皮的与薬・直腸内与薬の実際			講義
4回目	経口与薬の演習			演習
5回目	注射の基礎知識①：注射法 注射の方法と種類 注射筒と注射針			講義
6回目	注射の基礎知識②：注射法の実際 皮下・皮内注射筋肉注射の実際			講義
7回目	注射の準備： 注射針と注射針の準備 →アンプルカット →薬液の吸い上げ (アンプル・バイアル) 6Rの実際			演習
8回目	筋肉内注射 (ホッホシュテッター クラークの点 4分3分法 三角筋) の注射部位を根拠とともに確認			講義
9回目・10回目	筋肉内注射 (三角筋) の正しい注射部位と技術の確認			演習
11回目	静脈内注射：概要 注意点 注射部位の選択とその根拠 手順 留意点			講義
12回目	点滴静脈内注射 (輸液ルートの準備 輸液速度の調節 静脈内注射の刺入 ・固定の実施) 安全・安楽の視点 6Rの実施			演習
13回目	輸液ポンプ・シリンジポンプ・3方活栓の取り扱いの実際			演習
14回目	輸血管理：輸血の基礎知識 (輸血の種類と目的) 援助の実際と留意点			講義
14.5回目	包帯法の実践：包帯の名称・種類・創部の固定方法			
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護学技術Ⅱ (医学書院) 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間【45分間】：100点)			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な知識・技術を根拠とともに身につけていくことが重要です。6Rという言葉を経験を標語のように覚えるのは意味がありません。正しく理解し実践できるよう学習し、患者に安全な医療・看護を提供できる基礎的な能力を身に付けるようしましょう。</li> <li>・基礎看護技術Ⅴ (感染防止・無菌操作) の知識、技術の習得が前提になります。清潔・不潔の区別を理解し、実践できるように練習しましょう。</li> </ul>			